

参加要項

1 開催概要

- ①本集会は、オンライン（Zoom）と対面式と両方で開催します。（会場は先着50人）
- ②Zoom利用のイメージと留意点
 - ・Zoomは、パソコンやタブレット等の画面上に会場や講師などが映しだされて遠隔地からでも集会に参加出来ます。
 - ・オンライン参加の場合には、カメラとマイク付きのパソコンが必要です。なお、音が聞き取れない場合がありますので、周囲が静かな環境かイヤホンなどがあれば聞き取りやすいです。
 - ・使用場所や機器によって接続が不安定になることがあります。予め、視聴場所でインターネット環境をご確認下さい。
 - ・パソコンでの視聴を複数名で行う場合、視聴する人数でお申込み下さい。

2 申し込み

下記のURLから、申し込みフォームに入ってください。

「参加申込」がアンケート形式になっています。
お答えいただければ、自動的に受付されます。
申し込みフォームで難しい方は、FAXでも受け付けています。（別紙、参加申込書）
集会参加のためのURLは、後日、集会要綱をお送りします。
Zoomミーティングの形式でご参加いただけます。

《申込フォーム》

<https://forms.gle/j8DSQ9Hu485MwdiE7>
（一般社団法人社会福祉経営全国会議ホームページからも申し込めます）



《振込先》

- 郵便局から送金の場合：郵便振替 00930-4-196543
 - 他の金融機関から送金の場合：ゆうちょ銀行
 - 【店名】四〇八(ヨンゼロハチ) 【店番】408
 - 【預金種目】普通預金 【口座番号】7358785
 - 【口座名】（上記いずれの場合も）社会福祉経営全国会議
- ※振込時には参加者氏名をご記入ください。

第1回 全国福祉経営研究交流会実行委員会

【全国】一般社団法人社会福祉経営全国会議

【愛知】愛知県民間社会福祉施設経営管理者会議

【大阪】社会福祉施設経営者同友会

【京都】京都民間保育園経営研究懇話会

【兵庫】兵庫県民間保育園経営研究懇話会

【実行委員会事務局(兵庫)】

社会福祉法人 はとのさと福祉会(増田)
TEL.079-497-7234 FAX.079-497-7236

● 第1回 全国福祉経営研究交流会 in 兵庫 ●

憲法をよりどころに、 だれ一人をも取り残さない 社会福祉制度を築こう!

— コロナ禍から見えてきた 公的保障の問題と課題 —



昨年冬に発生した新型コロナ感染は、変異株も伴い今年度に入って拡大、主要都市に3度目の緊急事態宣言が発出されました。収束の見えない状況下、医療は逼迫し国民の命を脅かし、経済の停滞は暮らしを直撃し未来を見通せなくなった多くの人たちを生み出しています。昨年就任したこの国の首相は「自助・共助・公助」を唱え、憲法25条に謳われている「権利としての社会福祉」を真っ向から否定しました。今こそ、日本の社会福祉経営を担う皆さんの出番です。

「全国福祉経営研究交流会」は、東海と近畿地方で30年続けてきた東海・近畿福祉経営研究集会の歴史を受け継ぎ全国に範囲を広げた集会です。記念すべき一回目となります。ぜひご参加いただき、兵庫に集い、学び合い、行動の力にしましょう。

第1回全国福祉経営研究交流会実行委員長 徳永 満理

とき 2021年12月9日(木)～10日(金)

ところ シーサイドホテル舞子ビラ神戸
(神戸市垂水区東舞子町18-11)

参加費 11,000円(おひとり)

オンライン(Zoom)と
併用で開催

日程

12/9 (木)		12:00～ 受付	13:00～ オープニング 13:30～ 開会集会 基調提案 基調シンポジウム	15:30～17:00 基調講演
12/10 (金)	9:00～12:30 分科会	休憩	13:30～15:00 記念講演	15:10～15:30 閉会集会

主催：第1回全国福祉経営研究交流会実行委員会

オープニング 「土曜日の天使たち」

社会福祉法人 かがやき神戸



『かがやき神戸』のクラウンパフォーマンス集団「土曜日の天使たち」は、さまざまな障害があります。自分の長所、またできない事や苦手な事をデフォルメして表現することで、自分らしいキャラクターをつくる、それがクラウンです。一人ひとりがちがう魅力的な表現をお楽しみください。

開 会 集 会

1日目 13:30～

基調提案

ウイズコロナを見据え、憲法をよりどころに、だれ一人をも取り残さない社会福祉制度を築き上げる時です。「第1回全国福祉経営研究交流会in兵庫」の基調提案を二日間の集会で深め合い、新しい社会をつくりだす第一歩を踏み出しましょう。

基調シンポジウム

「コロナ禍で見えてきた現状と課題」

今なおコロナ禍の中、パンデミックにより世界中が閉塞感の中にあります。そして社会全体の弱点が露呈しました。三分野からの現場の発言からコロナ禍で見えてきた社会保障の問題点と課題を学び合ひましょう。

～高齢・障害・児童の三分野より現場発言～

- 高齢** 井上ひろみ 氏 (社会福祉法人七野会理事長)
- 障害** 松原 建二 氏 (社会福祉法人かがやき神戸理事長)
- 児童** 加藤 淳 氏 (社会福祉法人名古屋キリスト教社会館)
- コーディネーター** 垣内 国光 氏 (明星大学名誉教授 社会福祉法人多摩福祉会理事長)

基調講演

1日目 15:30～17:00

「だれ一人をも取り残さない社会保障制度とは？」

～社会福祉法人の経営・運営を考える～

憲法に保障された権利としての、社会福祉がどのように発展してきた現状に至ったか。そして、本来のあるべき姿と社会福祉法人の果たす役割とはどういうものか？ ということをお話していただき学び合ひましょう。

岡崎 祐司 氏 (佛教大学社会福祉学部教授)



1962年生まれ。佛教大学大学院社会学研究科博士後期課程退学、佛教大学講師、助教授を経て2004年から教授。福祉国家構想研究会副代表。主な著書は『現代福祉社会論』(高菅出版)、『現代地域福祉論』(高菅出版)、『安倍医療改革と皆保険体制の解体』(大月書店)、『老後不安社会からの転換—介護保険から高齢者ケア保障へ』(大月書店)

分 科 会

2日目 9:00～12:30

	分科会名	内 容
第1分科会	社会福祉事業入門講座	すべての分野で企業が参入し、社会福祉の市場化が進められています。「養護老人ホーム」「乳児院」など措置施設の実践から社会福祉事業とは何か、社会福祉法人の役割、そして運動と展望を深め合ひましょう。
第2分科会	「社会福祉法人改革」と経営課題	「社会福祉法人改革」の主目的である企業型法人・大規模法人への誘導策の具体化の準備が着々と進められています。情勢を踏まえ「権利としての社会福祉」のあるべき経営について交流し学び合ひましょう。
第3分科会	職員の確保と定着・育成	職員が働く厳しさに出会いながらも、安心や喜び、生きがいを感じてほしい、社会福祉の理念・使命に沿って職員が定着し互いに成長し合う職場運営を創りたいと願っています。全国の実践に学びましょう。
第4分科会	コロナ対策や自然災害、それらの経験の中から見えてきた福祉施設の課題	コロナ禍に対する社会福祉法人の対応とその経験から明らかになった福祉制度の矛盾点、多発する自然災害、特に豪雨災害に見舞われた社会福祉法人の経験から見えてきた福祉施設の危機管理対応や課題について学び合ひましょう。
第5分科会	だれ一人をも取り残さない福祉実践と経営課題	私たちには、健康で文化的に生きる権利があります。その原則に立って、目の前にある困難や「よく生きたい」というねがいに応えていくのが社会福祉事業の大切な役割です。「一人ひとりを大切にする」理念の実現に向けた取り組みを交流しましょう。
第6分科会	いま求められる社会福祉法人の経営機能	財政管理や労務管理、中長期計画の作成、制度変更への機敏な対応など社会福祉法人の経営機能＝法人本部の確立が求められています。「権利としての社会福祉」を守り発展させるために、学び合ひましょう。

記念講演

2日目 13:30～15:00

「コロナ禍で見えてきた経済構造と私たちがめざす社会」

今なぜ、格差が問題となりこのような社会現象がおきているのか、また未来に向かってなにをすべきなのかをお話していただきます。

二宮 厚美 氏 (神戸大学名誉教授)



1947年生まれ。1974年京都大学大学院経済学研究科修士課程修了、同博士課程中途退学後、大阪外国語大学助教授、神戸大学教授を経て、現在、同大学名誉教授。専攻は経済学、社会環境論。著書は『終活期の安倍政権』(新日本出版社)、『安倍政権の末路』(旬報社)など。